

2022年度 シラバス(授業内容)

昼間部 2 年 テーマパーク科 テーマパークコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。
当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2022 年度 昼間部 2 年 テーマパーク科テーマパークコース

進級・卒業基準単位

		1 年		2 年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通必修	7	8	6	6	27
	専門必修	16	21	21	20	78
合 計		23	29	27	26	105

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
共通科目	ホスピタリティⅠ	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15	脳力開発Ⅰ	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	1	15
	ビジネスコミュニケーションⅠ	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーションⅡ	講・演	1	15	ビジネスコミュニケーションⅢ	講・演	1	15
	Let's Speak EnglishⅠ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	15
	キャリアデザインⅠ	演	2	30	キャリアデザインⅡ	演	5	75	キャリアデザインⅢ	演	1	15	国際交流	演	1	15
	パソコン	演	1	15					卒業研究Ⅰ	演	2	30	卒業研究Ⅱ	演	2	30
	就職筆記対策Ⅰ	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15								
	小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90
	テーマパーク接客英語Ⅰ	演	2	30	テーマパーク接客英語Ⅱ	演	1	15	テーマパーク接客英語Ⅲ	演	1	15	テーマパーク接客英語Ⅳ	演	1	15
	接客手話Ⅰ	演	2	30	接客手話Ⅱ	演	2	30	テーマパーク接客手話Ⅰ	演	2	30	テーマパーク接客手話Ⅱ	演	2	30
	基礎ダンス演習	演	2	30	ダンス演習Ⅰ	演	1	30	ダンス演習Ⅱ	演	1	30	ダンス演習Ⅲ	演	1	30
必修科目 専門科目	ユニバーサルサービス	講	1	15	レクリエーション演習Ⅰ	演	2	30	レクリエーション演習Ⅱ	演	2	30	レクリエーション演習Ⅲ	演	2	30
	バルーンアートⅠ	演	1	30	バルーンアートⅡ	演	1	30	エンターテインメントメイクⅠ	演	2	30	エンターテインメントメイクⅡ	演	2	30
	パークオペレーションⅠ	講・演	2	30	フードセールス演習Ⅰ	演	2	30	パークオペレーションⅡ	講・演	2	30	フードセールス演習Ⅱ	演	2	30
	観光業界ガイド	講	1	15	電話応対ベーシックⅠ	演	1	15	電話応対ベーシックⅡ	演	1	15	イベントムービー	演	1	15
	カラーコーディネートⅠ	演	1	15	カラーコーディネートⅡ	演	1	15	中国語Ⅰ	演	1	15	中国語Ⅱ	演	1	15
	身だしなみ講座	講・演	1	15	PC 入門	講・演	1	15	海外観光事情Ⅰ	講	1	15	海外観光事情Ⅱ	講	1	15
	テーマパーク研究Ⅰ	演	1	15	テーマパーク研究Ⅱ	演	2	30	テーマパーク研究Ⅲ	演	2	30	テーマパーク研究Ⅳ	演	3	45
	ゲストサービスⅠ	講	2	30	ゲストサービスⅡ	演	2	30	イベントフォト	演	1	15				
									イベントサウンド	演	1	15				
									イベントプロモーションⅠ	演	3	45	イベントプロモーションⅡ	演	3	45
	企業実習				実	4	120									
	小計		16	255	小計		21	405	小計		21	330	小計		20	315
計	1年前期 計		23	360	1年後期 計		29	525	2年前期 計		27	420	2年後期 計		26	405
	1年 計						52	885	2年 計						53	825
	2年間 合計															
行事	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
	スタートアップセミナー スポーツ大会				就職ガイダンス 中村学園祭				スポーツ大会							

共通科目

シラバス(授業計画)

科目名	脳力開発Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	住友 大我				
	実務経験： ☒ ・ 無	トレーナー業、近年はトレーナー育成業を中心に 15 年ほどの実務経験があります。			
授業概要	心身ともに健康な状態で、社会人として長く活躍できるよう、メンタルトレーニングを中心とした脳の働き(脳力)を高める方法を学びます。				
到達目標	緊張からリラックス集中への反射を形成して、いつでも能力を発揮できるようになる。また、ストレスに対処する、ストレスを成長につなげる、モチベーションを高める、発想力を高めるなどの内容を、脳の働きをもとに理解する。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称：メンタルウェルネストレーニング基礎課程				
教科書 教材	授業用教材セット				
授業計画	・ メンタルトレーニング 思い方の練習(期待感と満足感を高める) 段階的リラクゼーション法(緊張からリラックスへの反射形成) 自律訓練法(リラックスした集中への反射形成) ・ ビジントレーニング 情報処理能力の向上(脳活ドリル、他) 視覚思考力、論理思考力の向上 ・ 脳力を発揮するための生活習慣 睡眠に関連する内容(疲労回復、記憶力、発想力との関連など) 運動、食事に関連する内容など ・ その他 自己分析(エゴグラム) メンタルヘルスに関連する内容(ストレスマネジメント、他) 能力発揮に関連する内容(目標設定、モチベーション、他)				
成績評価 方法	試験、出席率、平常点(提出物・授業態度など)の組み合わせで評価します。 詳細は、各期の初回授業で説明します。				
成績評価 基準	【試験】A:80 点／％以上、B:70 点／％以上、C:50 点／％以上、D:50 点／％未満 【出席率】A:100％、B:80％以上、C:60％以上、D:60％未満 【平常点】A:優、B:良、C:可、D:不可				

学生へのメッセージ

後期の授業内でメンタルトレーニングの検定試験を実施します。
合格した場合は、保有資格としてプロフィールなどに記載することが出来ます。
なお、受検料は発生しません。

シラバス(授業計画)

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ・Ⅲ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義・演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	岡田・橋本・担当講師				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	目的:観光・ブライダル業界人としてふさわしいビジネスマナーや必要知識を身に付けること。 概要:1 年次習得した基本のビジネスマナーを基にロールプレイを交えた発展的な内容を学ぶ。 また、一般常識や必要知識を学習する。				
到達目標	卒業後、新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を得ること。また、体現できること。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☐ 名称：秘書技能検定・ビジネス能力検定ジョブパス				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社				
授業計画	【接遇】 ・アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換 ・電話応対 ・上座、下座 【一般常識】 ・ビジネス文書(基本文書体裁とルール、宛名書き) ・ビジネスメール ・ビジネス用語 【知識】 ・年金、税、保険 ・組織(役職)と部門 ・慶弔 ・その他社会人として必要な知識 ロールプレイ等を交えた実践的内容となると良い。				
成績評価 方法	評価試験には期末試験の他、演習試験や小テストを含みます。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B:評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C:評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	Let's Speak English Ⅲ・Ⅳ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	語学担当講師				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	「英語で外国人と会話が出来たら...」ちょっとしたスキルとちょっとした勇気で、それは誰にでも実現可能なことです。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して練習していきます。クラスはレベル別に分かれますが、どのクラスも授業は出来る限り English Only で進めます。				
到達目標	日常的な話題について、シンプルな英語でコミュニケーションをとることが出来る。 異なる国や文化の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとすることが出来る。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	【My Hometown】 Asking about & describing places, asking for & giving suggestions, asking for & giving directions. 【Shopping】 Prices & features, bargaining, frequency 【Food】 Quantities, needs, eating habits, describing food 【Past & Future】 Talking & asking about past events, introducing & reacting to news, future plans				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)50%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!

シラバス(授業計画)

科目名	キャリアデザインⅢ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	就職担当				
	実務経験 : 有・ ☐ 無				
授業概要	1 年次とは変わり、就活情報の共有を主とした授業となります。 就活は各自の目指す業界、企業により開始時期や進行状況が異なりますので、個々の進行に応じ個別にバックアップし内定に向けサポート致します。また、内定者については自身も含めた就活情報の整理や入社に向けたビジネスマナーの習得をフォローしていきます。 後期には内定者を対象に就職交流プラザもあります。後輩への指導や自分達の学校、学科を誇りと出来るように積極的に自分の出来る事を考え、行動する時間としましょう。				
到達目標	1、内定及び進路決定を得ること。 2、社会人としての最低知識を有し、実行できること。 3、自身の就職活動をまとめ、後輩指導に役立たせられること。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	CAREER ADVICE TEXT(インテリジェンス)				
授業計画	【就職活動実践】 就活サイトを利用した就活、企業研究、求人確認、業界・企業動向研究、自己PR・志望動機作成、履歴書・ES 作成、面接演習、GP ワーク演習、小論文演習、SPI 対策と模擬試験演習、企業講演 【内定後】 お礼状作成、内定報告書類作成、就活資料の整理 【ビジネスコミュニケーション】 ビジネスメール作成、受付と接遇対応、名刺交換、ビジネスルールの理解、ビジネスセールストーク術、時事問題、グループワーク演習				
成績評価 方法	期末試験の得点ならびに出席率がメインとなります。平常点は就職活動(進路活動)の取り組む姿勢、授業態度、提出物などが評価基準です。				
成績評価 基準	A: 評価試験 85 点以上 かつ 出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 65 点以上 かつ 出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上 かつ 出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	卒業研究Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	各ゼミ講師				
	実務経験：有・ ☐ 無				
授業概要	この科目は、自身の興味ある分野を広く調査研究し深く考察することを目的とする。 観光関連の中から自らがテーマを決め、主体的に調査・研究を行い、考察を入れてレポートを作成する。今まで学校で学び得た知識や経験、図書館やパソコン、見識者、実地踏査などの手段により情報を集め研究する。講師からの助言・指導を受けながら卒業までにレポートをまとめる。また、研究成果の報告としてプレゼンテーションを行う。また、ゼミ内で優秀な作品を選出し、全体でのプレゼンを行う。 なお、卒業研究レポートの中で秀逸なレポートについては、卒業時に「卒業研究レポート優秀賞」として表彰する。				
到達目標	①自身の調査した内容をレポートにまとめ提出する。 ②プレゼンテーションの作成及び発表を行う。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし(適宜必要なプリントをゼミ担当者より配布)				
授業計画	【進め方】 ・卒業研究とは ・テーマの決め方 ・レポート作成における調査研究方法 【調査研究】 ・調査計画の作成 ・調査研究の進捗に合わせた個別指導 ・実施内容の確認 【レポートのまとめ】 ・レポート構成(序論、章、まとめ) ・レポート内容(目的、方法、結果、考察) ・文献資料を参考し作成する 【発表】 ・パワーポイントの作成 ・サマリーの作成 ・台本の作成 ・プレゼンテーション練習と本番での発表				
成績評価 方法	・平常点は授業取組姿勢、研究意欲等を考慮する。 ・以下の提出物は全て提出すること。 【提出物】前期:序論 後期:レポート・発表用資料				
成績評価 基準	A: 出席率 90%以上、平常点 優 B: 出席率 80%以上、平常点 良 C: 出席率 60%以上、平常点 可 D: 出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	国際交流			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：15 時間
担当	各担当講師				
	実務経験：有・ ☐ 無				
授業概要	コロナ禍により一時は海外との交流が途絶えてしまいましたが、それでも今後、私たちが多くの国籍の方たちに接し、共に暮らし、共に働く環境が復活することでしょう。この科目は、ITH ならではの校内で異文化に触れることが出来る環境を活かし、留学生との交流を通してお互いの「文化」「習慣」の違いを学び、理解を深めることを目的とします。				
到達目標	①外国人旅行者、移住者、働く仲間として交流のできる人材となる。 ②海外の方に伝えたい「日本の事」を動画で表現。社会に出た際に表現の組み立て、立案を行える事を目標。 ③日本の「文化」「習慣」をどのくらい知っていますか。自ら調査し接客に生かせる姿勢を身に着ける				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし(適宜必要な資料、プリント等を配布)				
授業計画	【日本の生活調査】 個人ワーク、グループワーク ①年中行事、自然風土、スポーツ、音楽、食べ物など、様々な分野について考える。 ②観光庁資料から「外国人旅行者が日本にきて困った事」を調べる。 チームごとの「こうしたら良いのでは?」といった改善策を含ませてチームごとに発表。 【動画作成】 グループワーク チームに分かれてテーマを選び、徹底的に調査し（実地調査含む）、まとめる。 【発表・交流】 留学生、ネイティブ講師に対して発表をする。				
成績評価 方法	・授業取組姿勢 ・発表内容 ・国際交流への意欲				
成績評価 基準	A: 出席率 90%以上、平常点 優 B: 出席率 80%以上、平常点 良 C: 出席率 60%以上、平常点 可 D: 出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

テーマパークコース

専門科目

シラバス(授業計画)

科目名	Theme Park English II・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	眞舘 尚子				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	1 年次に引き続きテーマパークで働く上で必要な基本的な英単語・英語表現を学びます。さらにグループワークやロールプレイを中心に授業を行い、様々な場面で使える英語の取得を目指します。				
到達目標	テーマパークで働くうえで必要な英語表現の獲得				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	オリジナルテキスト				
授業計画	【周辺施設と交通案内】 ・交通案内するときに必要な英語表現 ・周辺施設を案内するときに必要な英語表現 【お見送りとお問合せ】 ・お帰りの際に使う英語表現 ・電話でのお問合せ(忘れ物・落とし物など)に対応するための英語表現 【開園とチケット売り場】 ・1 年次に学習したフレーズを使い、開園時とチケット売り場ではどんな会話が繰り広げられるかを自ら考え、ロールプレイを通して練習していきます。(割引券を使ったチケットの購入、場所の案内など) 【アトラクションとショー】 ・アトラクションやショーでの会話を考え、ロールプレイを通して練習していきます。(アトラクション・ショーの待ち時間と注意事項の案内、クレーム対応など)				
成績評価 方法	テスト、出席率、授業態度を総合して評価します。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 80%以上、平常点: 優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 70%以上、平常点: 良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点: 可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点: 不可				

学生へのメッセージ

楽しく笑顔でたくさんロールプレイをして、実際に使える英語の取得を目指しましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	テーマパーク接客英語Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	眞舘 尚子				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	子供向けのテーマパークや職業体験もテーマパークを念頭に、子供に対する英語表現やさまざまな職業を体験する際に必要な英会話の取得を目指します。				
到達目標	テーマパークのどんな場面でも対応できる英会話力の取得				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	Travel English at Your Fingertips. 成美堂				
授業計画	【テーマパーク・オンラインツアー】 ・オンラインで日本のテーマパークを紹介してみよう。 ・台本を作成し、ZOOM で実際にツアーをやってみる。 【問題に対応する】 ・具合が悪くなったお客様に対応する ・クレームに対応する ・問い合わせに対応する				
成績評価 方法	テスト、出席率、授業態度を総合して評価します。				
成績評価 基準	A: 授業理解度 80%以上、出席率 80%以上、平常点: 優 B: 授業理解度 60%以上、出席率 70%以上、平常点: 良 C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点: 可 D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点: 不可				

学生へのメッセージ

テーマパークには様々な種類があります。どの業界でも英語を使って活躍できるよう、楽しく学んで話しましょう。そして、実際に英語で演劇をすることで、「できる」を実感していきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	テーマパーク接客手話Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期 後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	飯塚 佳代				
	実務経験： ☒ 有・ ☐ 無	手話通訳士			
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。前期・後期3級単語学習を行う。聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話でのコミュニケーションがとれるようにする。				
到達目標	2 年次においては手話検定 3 位級レベルを目指す。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称：手話技能検定 3 級				
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト3・4級（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	【日常生活に必要な基本を学習Ⅰ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・副詞・施設・地名・接客手話などを学習する。 【日常生活に必要な基本を学習Ⅱ】 教育・科学・建築物・距離・金額・医療・性格・態度・接続詞・助詞・接客手話などを学習をする。 【日常生活に必要な基本を学習Ⅲ】 手話で行う歌や検定対策に向けて過去問題の学習を行う。 手話で接客をする場面を想定し、ロールプレイなどを行う。				
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	ダンス演習Ⅱ・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期 後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	後藤 大				
	実務経験： ☒ ・ 無	スポーツ施設にて体操とダンス指導実務経験あり。			
授業概要	テーマパークではキャストの接客もショーの一部。接客によるエンターテイメントの重要性、接客での動作における身のこなしなど、ダンスを通して習得する。テーマパーク、児童施設などでのレクリエーションダンスの指導法の習得。ストレッチ運動、リズム運動、ダンス基礎、表現方法の習得。				
到達目標	テーマパークでの接客実技の習得。レクリエーションダンス指導の習得、発表。 ダンス基礎、実技、表現方法の習得、発表。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	なし				
授業計画	【テーマパークダンスの研究2】【ダンスジャンルの研究】【ダンス基礎】【振付】 テーマパークダンスと接客の共通点を映像で学習する さまざまなダンスジャンルの動きを研究し、どのようなシーン(場面)で応用できるかを学ぶ ウォーミングアップ～ストレッチ～リズムトレーニング～振付 テーマパークダンス研究確認テストの実施 【舞台装置、舞台特殊効果の研究】【ダンス基礎】【振付】 舞台(ショー)で使われている装置、舞台特殊効果がどのような効果があるのかを学ぶ ウォーミングアップ～ストレッチ～リズムトレーニング～振付 【ダンス振付】 ウォーミングアップ～ストレッチ～リズムトレーニング～振付 【ダンスショー制作】 ウォーミングアップ～ストレッチ～リズムトレーニング～振付 約15分のダンスショーを制作、発表 ダンスショー発表テストの実施				
成績評価 方法	身体本来の筋力、柔軟性を高めていく姿勢や意欲。リズム感、体幹の判定。 表現力の強弱評価。他。				
成績評価 基準	A: 授業内期末試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 授業内期末試験 50 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 授業内期末試験 30 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業内期末試験 30 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

目的意識を高めて受講していくところに成果が出てくる経験を重ねてもらいたい。
その為のプロセスは他の事柄に通用する事も体感してほしい。

シラバス(授業計画)

科目名	レクリエーション演習Ⅱ・Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 ： 2 単位 後期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 30 時間 後期 ： 30 時間
担当	高橋 紀子				
	実務経験 ： 有 ・				
授業概要	一年生の授業を理解した上で、より実践的な内容を網羅する。心理学 リーダーシップ論 コーチング論 などの理論と技術の習得によるコミュニケーションスキルの構築などをより細かく学ぶ。様々な理論や技術、方法を学ぶことで即戦力としての実力を身につける。プログラムの企画、計画、実施、評価までを実際に行い、より深く学ぶ。「レクリエーション=生活を豊かにすること」レクリエーション活動=生活を豊かにするためのアクティビティ」をさします。アクティビティ指導・支援のスキルを体得することで、キャストに感動を分かち合うこと・提供することの必要性・重要性を知ること レクリエーション活動(アクティビティ)支援内容を組み立てる楽しさを知ることできます。レクリエーションインストラクター、レクリエーションコーディネーター、福祉レクリエーションインストラクター スポーツレクリエーション指導員など有資格者が 観光 テーマパーク等で活躍しています。楽しさ、心地よさを活かし、心の元気を考えるための理論と実践を学ぶ授業です。				
到達目標	「人前で話す、演じること」が緊張感なく堂々とできるようにする。 レクリエーション活動(ゲーム指導・支援)の発表が、一人でできるようになる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意				
教科書 教材	介護レクリエーションサポーター研修 (公益財団法人日本レクリエーション協会) 随時 レジュメを配布				
授業計画	【レクリエーションとレクリエーション活動について知る】 レクリエーション活動の体験を通して、レクリエーションとレクリエーション活動の違いを理解し、様々な対象にあわせたレクリエーション活動について体験する。 (乳幼児 学童期 青年期 壮年期 高齢期など) 【レクリエーション支援の理論】 楽しさの先にあるレクリエーションを考えるためにさまざまな理論を学ぶ。乳幼児・学童期・青年期・壮年期・高齢期などにおける各段階の心理や特性、対応について学び、集団づくりや主体性を育む支援を考える。 【レクリエーション支援の方法】 アイスブレーキングやさまざまなレクリエーション活動を体験し、対象者に合わせたレクリエーション支援ができるような様々な技術を習得する。模擬実施などを行い、支援者として立ち振る舞うことができるようにする。 【レクリエーション支援演習】 様々なレクリエーション活動支援における、事業計画、安全対策 リスクマネジメントなどを学ぶ。 支援実習 実地研修をおこなう。				
成績評価 方法	評価試験、出席率、提出物、平常点				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、提出物、平常点優 B: 評価試験 50 点以上、出席率 70%以上、提出物、平常点良 C: 評価試験 30 点以上、出席率 60%以上、提出物、平常点可 D: 評価試験 30 点未満、出席率 60%未満、提出物、平常点不可				

学生へのメッセージ

レクリエーションを考えることは、子どもから高齢者、障がい者、など分け隔てなく、対象者に合わせて、「生活の質」、「生活を豊にすること」を考えることです。そのためのレクリエーション活動やさまざまな理論を身に着けていきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	エンターテインメントメイクⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：30 時間 後期：30 時間
担当	塚田 たみ子				
	実務経験： ☒ ・ 無	芸能(TV やステージ等)・出版業界にて出演者やアーティストにメイク業務実績あり。各種学校の講師活動を 20 数年間行っている。			
授業概要	社会人の身だしなみとして、好感度をアップするメイクアップの技術を学びます。エンターテイナーとしてのパフォーマンスに欠かせない様々なメイクアップを体験し、目的やシーンに応じて活用できるよう、実習を通して学びます。				
到達目標	様々な種類のボディーメイクの技術を学び、イベント時などに提案や応用ができる。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	メイク道具一式(AQ 8color palette 、メイク用筆)				
授業計画	【リクルートメイクアップ】 オリエンテーション。カラーコーディネートの理論を理解し、メイクアップに応用する リクルートメイクアップ 実習を通して、自分自身の良さを生かし、好感度を上げるメイクアップ技術を学ぶ 【フェイス＆ボディーペイント】 筆の使い方 基本ラインの描き方、 ワンポイントアート アニマルメイクアップ クラウンメイクアップ ハロウィンメイクアップ等の技術を学ぶ 【ボディージュエリー】 材料や道具の扱い方を知り、 各方面で人気の高い ボディージュエリーを美しく描く技術を学ぶ 【ヘナ・タトゥー】 ヘナ・タトゥーの意味、作り方、扱い方などを知り、 一時的なタトゥーとして、 美しい模様を描く技術を学ぶ 【実技テスト実施】 1年間を通じ、フェイス＆ボディーペイント、ボディー・ジュエリー、ヘナ・タトゥーの実技テストの実施				
成績評価 方法	授業内で各分野ごとに実技試験を行い、学期末には評価試験を行う。 全ての実技テスト及び評価テストで判断する。出席状況、授業参加意欲も評価される。				
成績評価 基準	A: 授業内期末試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業内期末試験 75 点以上、出席率 75%以上、平常点良好 C: 授業内期末試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業内期末試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	パークオペレーションⅡ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	講義・演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期：2 単位	時間数	前期：30 時間
担当	長谷川 慶太				
	実務経験： ☒ ・ 無	テーマパーク業界にてアトラクション時間帯責任者として約7年間実務経験あり。			
授業概要	テーマパークでのオペレーション方法や、ゲスト対応の方法を学びます。 また、提携先企業との授業で様々な年代・働き方を学ぶ。				
到達目標	・ゲストの前に出た際にその場の雰囲気を壊すことなく しっかりとした対応やキャスト・クルー・スタッフとして対応ができるようになる。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	参考資料配布				
授業計画	【アトラクション探求】 ・知識を増やし楽しませ方のバリエーションを増やす 【ゲストサービス】 ・ゲストの思いを汲み取り行動できるようにする 【レジ作業等を含む販売】 ・実際のレジを使い金銭の受け渡しや言葉遣いなどを学ぶ 【学内イベント】 ・学校内でのイベントを一から作成しゲストを楽しませるための方法を学ぶ。				
成績評価 方法	出席状況、小テストによる理解度判断。提出物、授業態度、参加意欲も評価。				
成績評価 基準	A：出席率 90%以上、実技試験（理解度）80%以上、提出物・平常点 優 B：出席率 80%以上、実技試験（理解度）70%以上、提出物・平常点 良 C：出席率 60%以上、実技試験（理解度）60%以上、提出物・平常点 可 D：出席率 60%未満、実技試験（理解度）60%未満、提出物未提出、平常点 不可				

学生へのメッセージ

好きという事と、なり切って働くという事は別物になります。
必要な知識や行動を身につけられるよう学んでいきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	電話応対ベーシックⅡ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	岸田 輝美				
	実務経験： ☒ ・ 無	電話応対・マナー講師実務経験あり。現在は、マナー会社取締役。			
授業概要	あらゆるビジネスシーンに必要な「電話応対」には、正しい日本語の使い方・基本的なビジネスマナー・様々な状況に臨機応変に対応することができるコミュニケーション能力が求められます。本授業では、1 年で学んだことを活かしながら実践ですぐに役に立つ、優れた電話応対術を学びます。				
到達目標	実践ですぐに役に立つ電話応対を学ぶ。発声・発音、電話の受け方・かけ方、定型的な言い回し、伝言メモの書き方 etc 電話応対の基礎を固める。訓練用模擬電話機「てるコーチ X」でトレーニングをして即戦力をを目指す。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ ☒ 任意 名称: 電話応対技能検定3級				
教科書 教材	1 年後期に配布済み				
授業計画	【電話応対の基本】 電話のコミュニケーションについてグループワーク 【電話応対のマナー】 4 つのテーマ「正確・簡潔・丁寧・迅速」、電話応対の注意点や電話のかけ方、受け方、取り次ぎ方、常套句等、実技トレーニングをしていく 【いろんな場面での電話応対】 電話の第一印象であるオープニングの解説と実技トレーニング。口角を上げる・口の横開き基本訓練 【実施試験に向けて】 電話の向こうの「あなた」に爽やかな余韻を残しての終話(クロージング)の解説と実技トレーニング				
成績評価 方法	学期末には評価試験・実技を行う。実技の台本作成を筆記試験とする。両方の総合評価で判断する。評価試験を欠席した場合は、0 点として取り扱う。出席状況、授業参加意欲も評価される				
成績評価 基準	A: 評価試験 80% 以上、出席率 90% 以上、平常点優 B: 評価試験 70% 以上、出席率 80% 以上、平常点良 C: 評価試験 40% 以上、出席率 60% 以上、平常点可 D: 評価試験 40% 未満、出席率 60% 未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

社会に出たら会社の代表として電話に出ます。あなたの応対が心地よいからこの会社にお願ひしたいと言われるようにファンづくりに繋がっていきましょう。電話というツールを活かして対人とのコミュニケーションスキルを学びましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	張翼飛				
	実務経験：有・ ☐				
授業概要	中国語圏内のお客様にテーマパークで初歩的な接客応対ができるように仕事で使えるフレーズの習得を行います。				
到達目標	テーマパークでよく使われる会話を話せるようにする。				
検定資格	☒ ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	前期 中国語初歩の初歩（高橋書店） 後期 講師作成プリントに基づきフレーズの解説と音読。また学生同士で会話を行い、フレーズをしっかりと覚えるためロールプレイング形式で進める。				
授業計画	【中国語の基礎】 ・ピンインの復習 ・ピンインで中日辞書の漢字を調べてみましょう ・数字の数え方 ・日付と曜日の言い方 【テーマパーク用基本フレーズ】 ・テーマパークの入場編 ・テーマパークの案内編 ・テーマパークのレストラン編 【テーマパーク用の会話練習】 ・遊戯施設使用する中国語会話と飲食施設の中国語会話 ・テーマパーク内商品販売の中国語会話 【テストと復習】 ・1年次の復習テスト ・テーマパーク用のフレーズ、テーマパーク会話のテスト ・テストフィードバック				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 授業内期末試験 80 点以上、出席率 90%以上、 平常点優 B: 授業内期末試験 70 点以上、出席率 70%以上、 平常点良 C: 授業内期末試験 60 点以上、出席率 60%以上、 平常点可 D: 授業内期末試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

テーマパーク科は明るく元気な学生は多いです、勉強意欲があって大好きなクラスです、一緒に楽しい中国語を勉強しましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	海外観光事情Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期 後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	担当講師				
	実務経験： ☒ ・ 無	旅行業界にて旅程管理実務経験あり。現在も添乗員として勤務。			
授業概要	この授業では、テーマパークやディズニー映画がモチーフとしている街・建造物・祭り・文化・食などを中心に、世界の観光情報を広く浅く学びます。 また、ユネスコの世界遺産や宗教の基礎なども、授業の要素として取り入れます。 後期の後半では、テーマパーク科として知っておいていただきたい国について、個別に学びます。				
到達目標	世界の主だった国の文化、観光情報や世界遺産について、基礎的な知識を持つことができる。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	旅に出たくなる地図 世界（帝国書院） プリント適宜配付				
授業計画	前期 ①地図を読もう(緯度・経度・大陸・地域) ②世界をざっくり学ぶ(アジア・中東・アフリカ) ③期末試験 後期 ①世界をざっくり学ぶ(ヨーロッパ・北米・中南米・オセアニア) ②国内のテーマパークが舞台としているものに関連付ける(イタリア・スペイン・ハワイ) ③期末試験				
成績評価 方法	出席率、授業態度、意欲、および期末試験				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上＋出席率 80%以上＋平常点 優 B: 評価試験 60 点以上、または出席率 70%以上、または平常点 良 C: 評価試験 40 点以上、または出席率 60%以上、または平常点 可 D: 評価試験 40 点未満、または出席率 60%未満、または平常点 不可				

学生へのメッセージ

国内のテーマパークには、海外の観光地をモチーフとするものがあります。
それらが世界のどこにあり、どんな国で、どんな観光地なのか、机の上で一緒に旅をしながら、
理解を深めましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	テーマパーク研究Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：3 単位	時間数	前期：30 時間 後期：45 時間
担当	石神直人・長谷川 慶太				
	実務経験： ☒ ・ 無	講師両名ともテーマパークにてテーマパークスタッフ実務経験あり。			
授業概要	業界知識を養い、イベントの立案実施を行う。イベントを複数回実施することにより、企画力や対応力を養う。				
到達目標	・テーマパーク業界の形態、サービス内容の把握 ・イベントの立案及び実施 ・テーマパーク業の挨拶、ご案内の一時対応				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	無し				
授業計画	【イベント研究】 ・イベントの立案・実施 ・業界業務内容、実態講義 【学内演習】 ・お客様への挨拶・ご案内 ・お仕事体験の実施 ・プレゼンテーシ及びイベント案内文章の作成 【業界視察】 イベント等に焦点を当てたテーマパーク業界視察他 国内テーマパーク及び観光業界動向調査 企業人としてのテーマパーク・社会人教養 等				
成績評価 方法	筆記試験及び出席率、授業態度を総合して評価します。				
成績評価 基準	A: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 評価試験 50 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 30 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 30 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	イベントフォト			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	戸嶋 穂高				
	実務経験： ☒ ・ 無	写真業界にて長年勤務。人物・建物・商品と幅広い撮影を行っている。			
授業概要	撮影応用(復習と組写真) 写真撮影の技術に応用したデザイン				
到達目標	写真撮影の技術のもと、リーフレット作成の技術を身につける				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【デザインの基本】 成果物の制作に向けて、仕上がりから各要素を学ぶ。 ① 写真撮影について ② 必要な情報とデザインについて ③ その他 【写真の基本】 人物撮影とイメージカットを組み合わせる ① 写真の基礎理論 ② ポートレート実践 ③ イメージカット実践 【リーフレットについて】 上記項目で学んだ要素を使い、初日の仕上がりを再現する アルバム発表 期末テスト				
成績評価 方法	授業内にてテストを実施				
成績評価 基準	A: 授業内期末試験 85%以上、出席率 85%以上、平常点良好 B: 授業内期末試験 75%以上、出席率 75%以上、平常点良好 C: 授業内期末試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点普通 D: 授業内期末試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点不良				

学生へのメッセージ

伝わりやすい写真やデザインは社会生活だけではなく、プライベートな活動も豊かにしてくれます。
楽しみながら写真の面白さを学んでいきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	イベントサウンド			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：15 時間
担当	永島 さおり				
	実務経験： ☒ ・ 無	イベントやパーティーセレモニー、企業や店舗棟の音楽企画、演出、生演奏に関わる。経歴25年以上。			
授業概要	イベントにおいて重要な役割を持ち、お客様の心に直接作用する音による演出。音楽に関する基礎知識と共に、お客様が心地よく過ごせる音の空間を提供する技術、幅広い年齢層 や様々な出身地の方とも共有できる感動的且つ効果的な演出方法、シナリオに合わせた選曲構成ができる知識やセンスを身につけます。実習では音響機材を使用し機材の基本的な操作方法を学びます。				
到達目標	・シナリオに合わせて音楽をコーディネートできる ・音響機材の基本的な操作ができる				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書教材	オリジナル教材、参考資料配布				
授業計画	【演出としての音楽】 ・音楽の演出、効果を利用している場所 ・人の感覚に直接作用する「音」 ・シナリオに合わせて選曲、構成してみる 【音楽に関する基礎知識】 ・音楽のジャンルに関する知識 ・効果音に関する知識 ・曲をイメージづける要素 ・楽曲の構成を知る ・インストゥルメンタルの効果 ・つながりの音という考え ・イベントを構成する音 【音響機材の基礎知識】 ・機材、配線、端子等に関する知識、 ・音響機材の基本操作方法 ・タイミングに合わせた効果的な操作 【制作発表会に向けて】 ・発表で使用する機材の操作方法 ・実際の会場での音響チェック 【理解度試験】 ・小テスト ・プリント作成（提出物）				
成績評価方法	出席状況、小テストによる理解度判断。提出物、授業態度、参加意欲も評価。。				
成績評価基準	A：出席率 90%以上、実技試験（理解度）80%以上、提出物・平常点 優 B：出席率 80%以上、実技試験（理解度）70%以上、提出物・平常点 良 C：出席率 60%以上、実技試験（理解度）60%以上、提出物・平常点 可 D：出席率 60%未満、実技試験（理解度）60%未満、提出物未提出、平常点 不可				

学生へのメッセージ

積極的に機材に触れ「音」が持つ力を存分に体験してみましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	イベントプロモーションⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：3 単位 後期：3 単位	時間数	前期：45 時間 後期：45 時間
担当	響 丈				
	実務経験： ☒ ・ 無	劇団にて公演出演経験、またライブ活動経験あり。			
授業概要	2 月に行われる、2 年間の学生生活成果発表のための計画、準備、練習、運営を学生主体で行います。そのために必要な、基礎的な発声や演技の訓練も併せて行います。				
到達目標	成果発表を成功させる。				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	なし（適宜プリントを使用）				
授業計画	・ 舞台を意識した発声練習（腹式呼吸・発声、通る声の出し方、表現するために必要な発声の仕方等のボイストレーニング） ・ 舞台用語を覚える。 ・ 既存の台本を使用しての演劇実習。 ・ 成果発表（2 月中旬・N ホール WEST を予定）の台本作成、司会、衣装、音楽、照明プランを検討し、実行する。 ・ 個人での発表、団体での発表ゴール設定。 ・ 講師・職員・保護者・新入生案内文の作成。 ・ 学生の役割分担の均一化、学生主体の発表。 ・ 必要であれば動画の撮影など。				
成績評価 方法	評価試験は授業内での実技と、期末の筆記試験の合計で 100 点とし、授業参加意欲を平常点として評価する。				
成績評価 基準	A：評価試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C：評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

成果発表に向けて、自分たちで作品を作り上げる楽しさ・大変さ・難しさを体感し、成果発表後に達成感を得られるように作品を作り上げていきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	フードセールス演習Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期：2 単位	時間数	後期：30 時間
担当	石神 直人				
	実務経験： ☒ ・ 無	テーマパークにてテーマパークスタッフ及びスタッフ教育者として実務経験あり。			
授業概要	テーマパーク飲食施設で勤務した際の和洋中の基本知識・最低限の技術(レジ操作・トレイ・皿持ち・備品の名称)を習得することテーマパークでサービスされる食事と料理の基本・作り方を覚える。				
到達目標	・アルコール類の基本知識習得 ・スタンダードカクテルレシピ習得作成				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【料飲知識講座】1 年次復習 ・和洋中の基本知識の習得 ・飲料の基本知識の習得 ・レストランサービス基本知識 【料飲知識講座試験】 ・料飲知識講座の確認をペーパーテストで行い、フィードバックを行う。 【バーサービス演習】 ・醸造酒/蒸留酒/混成酒 違い及び詳細 ・シェイク/ブレンド/ステアー/ビルド基本演習及び3～4週おきに講義内で確認実技テストの実施 ・スタンダードカクテルレシピの習得 ・アルコール度数計算 ・オリジナルカクテルの作成 【販売計画の作成】 ・過去のデータを元に販売計画を立て『PLAN ⇒ DO ⇒ CHECK ⇒ ACTION』を行う。 【調理補助業務】 ・調理の基本知識習得後、実際の調理補助業務を演習にて行う。				
成績評価 方法	筆記試験・及び実技試験にて成績評価を行う。				
成績評価 基準	A: 授業内期末試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 授業内期末試験 50 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 授業内期末試験 30 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業内期末試験 30 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

テーマパークの楽しみの一つに食事とアルコールがあります。お客さまに楽しい一日を過ごしていただくため、無くてはならない食事の基本知識を覚え、サービススタッフとしての知識・技能を養いましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	イベントムービー			科目区分	専門科目
対象	テーマパーク科 テーマパークコース			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：15 時間
担当	担当 小原 悠人				
	実務経験： ☒ ・ 無	イベント・婚礼にて10年以上の撮影経験あり。			
授業概要	近年、映像を使った広告宣伝や情報発信はどの業界においても大切な位置付けとなっている。映像に関する知識の習得や、実際に撮影編集を通して制作の流れを体験することで社会人としての情報発信能力の向上をはかる。				
到達目標	企画から撮影・編集までの基本的な流れを理解し、一人でも制作可能な力を身につける。				
検定資格	☐ ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書教材	なし				
授業計画	【撮影や編集に関する基本的知識の習得 5 時間】 ・ 動画の特徴や制作に関する知識やテクニックの講義(1時間) ・ 講師の実演による映像制作の流れを理解する(1時間) ・ スマートフォンの動画編集アプリの使い方(1時間) ・ スマートフォンを使い簡易撮影&簡易編集(2時間) 【撮影・編集体験 10 時間】 チームに分かれて共通のテーマに沿った動画制作(10時間) →企画立案絵コンテ(構図)制作(3時間) →撮影(3時間) →編集(3時間) →成果発表(1時間) 実際に編集までを行うことを意識してシナリオ考案から動画を制作する。 ※ テーマは一例としては「5年後の再会」「サプライズ」「手を繋ぐ」などがあります。				
成績評価方法	出欠状況と授業参加意欲が重要な評価基準。 その他、ペーパーテストや、授業内で制作する動画のクオリティも含めた総合評価で判断する。				
成績評価基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 評価試験 50 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 30 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 30 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

動画は写真よりも人柄や空気感が伝わるものです。自分たちが楽しめば、その動画を見ている人にもその楽しさが伝わります。動画制作は団体競技です。チームのメンバーと協力して楽しい動画を作っていきましょう!!